

日常の“ちょっとした困りごと”を、身近な地域で解決!!

生活支援ボランティアグループ

活動事例集

電球取り替え



福岡市社会福祉協議会キャラクター
ここっと



外出支援



ゴミ出し



はじめに



加速する少子・高齢化、核家族化の進行といった社会の構造的変化や、地域のつながりの希薄化などにより、家庭や地域社会における問題解決力が低下するなか、社会的孤立を共通の背景として、様々な不安や福祉課題を抱える世帯が増えています。

また、“団塊の世代”が75歳以上（後期高齢者）となる2025年を見据えた体制づくりにおいては、誰もが住みなれたまちで安心して自立した生活ができる地域社会の実現のためには、公的なサービス（フォーマルサービス）だけでは対応が難しいのが現実であり、ボランティアやNPO、当事者組織、地域団体等、多様な実施主体によるインフォーマルサービスの拡大が期待されています。

特に、単身世帯等の支援を必要とする高齢者の急増が見込まれる地域においては、これまで主に小学校区単位で実施されてきた、見守りや交流などの既存の小地域福祉活動に加え、「生活支援活動」の必要性が高まってきています。実際、行政等の福祉サービスでは対応が難しい、日常の“ちょっとした困りごと”の支援を、身近な地域の中で行う『生活支援ボランティアグループ』が、福岡市においても、徐々に結成されてきています。

『生活支援ボランティアグループ』の活動には、人と人とのつながりを尊重し、生活に寄り添いながら、地域の要援護者の個別の生活ニーズに応える、柔軟で安定的・継続的な仕組みとして発展していくことが期待されています。

現在、福岡市内で活動中の『生活支援ボランティアグループ』をご紹介しますことにより、このような支援の輪が広がっていくことを目的として、本事例集を作成いたしました。多くの方々にご活用いただき、地域の実情に合った支え合い活動の発展に寄与することができれば幸いです。

最後に、この事例集を作成するにあたり、調査にご協力いただきましたグループの皆様に、厚くお礼申し上げます。

平成26年3月

社会福祉法人福岡市社会福祉協議会



❀ はじめに	1
❀ 小地域福祉活動とは…	3
❀ 「生活支援ボランティア活動」とは…	3
❀ 事例集	
● 東区三苫校区 三苫宮繕おたすけ隊	4
● 東区美和台校区 2丁目ボランティアの会ブルーネット	6
● 東区美和台校区 和白丘2丁目ボランティアの会 あしたばの会	8
● 東区香住丘校区 香住丘ボランティアの会	10
● 東区城浜校区 七桜会（ななおかい）	12
● 東区青葉校区 Be-すけっと・あおば（通称：ビスケット）	14
● 博多区博多校区大浜地区 はまおう助っ人センター	16
● 南区西高宮校区 ちょいボラ西高宮	18
● 南区柏原校区 おたすけ隊「えぶろん」	20
● 南区東花畑校区 たすけ愛隊	22
● 南区若久校区 若久おたすけ隊	24
● 南区高木校区 高木手足の会	26
● 南区弥永校区 ボランティアセンター「のぞみ弥永」	28
● 城南区七隈校区 ふれあいサポート	30
● 早良区原西校区 原西おせっ会	32
● 早良区賀茂校区 原南自治会福祉会「たのまん会」	34
● 早良区四箇田校区 楽まれ隊（たのまれたい）	36
● 西区西陵校区 下山門団地2区お助け隊	38
● 西区周船寺校区 女原お助け隊	40
❀ 生活支援ボランティア活動を始めようと思ったら…	42
～グループ立ち上げ時の主な検討事項～	
❀ 福岡市・区社会福祉協議会 連絡先	48

※事例集の活動内容は変更になる場合もあります。
※各ページの校区別人口及び高齢化率は、平成25年9月末現在のものです。

小地域福祉活動とは…

市や区といった大きなエリアではなく、小学校区や中学校区、あるいは自治会・町内会といったより身近な生活に密着したエリア（日常生活圏域）で行われる、住民の主体的地域福祉活動のことです。

福岡市では、小学校区単位で『校区社会福祉協議会』が結成されており、民生委員児童委員協議会、自治協議会や自治会・町内会、各種団体等と連携し、地域の実情に合わせた様々な小地域福祉活動が実施されています。

日常の見守り活動を行う「ふれあいネットワーク活動」や、孤立防止・介護予防等を目的として住民同士の交流を行う拠点活動である「ふれあいサロン活動」を中心に、高齢者会食会・配食事業、顔の見える関係づくりや支え合い・助け合いの活動につながる様々な地域交流事業などが行われています。

近年、見守り活動を行う中で発見される福祉課題やニーズを解決するための取り組みとして、「生活支援ボランティア活動」が注目され、小地域での「生活支援ボランティアグループ」の結成が進んでいます。

「生活支援ボランティア活動」とは…

日常の“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、“できるときに、できることを、できる人が”行う、身近な地域のボランティアによる支援活動です。行政サービス等では手が届きにくいところに対応できる、インフォーマルなサービスの一つであるとも言えます。

校区単位あるいは町内単位でグループ化されることが多く、校区社会福祉協議会や自治会・町内会、単独のボランティアグループなど、運営の主体もさまざまです。

活動に対しては、少額の利用料を負担する場合があります。

活動内容は、グループによって異なり、ゴミ出し、電球交換、外出支援などを行っています。

また、困りごとの手助けをすることだけでなく、活動を通じて安否確認を行ったり、住民同士が顔見知りになったりすることで、地域住民のつながりができ、日頃の見守り活動や防犯、災害時の支援につながるなど、「まちづくりとしての効果」が生まれています。



福岡市社会福祉協議会では、生活支援ボランティアグループの立ち上げに際し、地域福祉支援員（校区担当ワーカー）がご相談に応じ、アドバイスさせていただくほか、立ち上げ費用の助成制度も設けています。



東区三苫校区

三苫宮繕おたすけ隊

活動目標

三苫校区の高齢者等が安心して暮らせるよう、生活の手助けと地域住民の交流の輪を広げる。

概況

結成時期 平成25年7月

活動地域 三苫小学校区内

ボランティア数 17名（男性13名・女性4名）

活動対象 高齢者・障がい者 活動日 特に制限なし（年末年始も対応）

利用料 無料（材料費・交通費等の実費のみ利用者負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 4件 / 活動件数 4件

規約・会則の有無 有

東区三苫校区

人口 9,278名
高齢化率 14.5%

活動地区の特色

近年、集合住宅を中心とした宅地開発が進んでおり、人口は増加傾向にある。若い世帯が多く居住しており、高齢化率は比較的低く、出生率が高いことが特徴的である。

活動開始のきっかけ

コミュニティの希薄化に伴い、昔ながらの向こう三軒両隣で近所で助け合うことが必要だと考えたため、宮繕活動を思い立った。

立ち上げまでの流れ

自治協議会や自治会の定例会などで関係者に説明し、各町内には回覧板で活動の周知を行った。

活動内容

家の中の修繕

活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 三苫2丁目の自治会長が依頼者宅を下見のうえ、マッチングを行う。

活動時のルール 必ず2人以上で訪問するようにしている。

挨拶を含めた依頼者とのコミュニケーションを大事にしている。

- ・原則、実費主義、迅速・信頼がモットーで活動されており、「利用者の笑顔だけで十分、謝礼は困ります」とのことで、大変感激しました。
- ・面識のない人を助けてくれるコミュニティのありがたさを感じさせられました。



利用者の声

- ・依頼者が笑顔になり、とても喜ばれること。
- ・地域に住む高齢者とのコミュニケーションの輪が広がること。



活動していてよかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・営繕に必要な道具が十分に揃っていない。
- ・可能な限り、民生委員と一緒に依頼者宅を訪問するようにしたい。

校区の皆さん知っていますか
「三苫営繕おたすけ隊」
高齢者（身障者）の営繕を応援いたします。



日常生活の中で
鍵が開かない開きやすい
水道の水漏れが止まらない
家具等を動かしたいが重たくて動かせない
品物の取手が壊れていて取れたい 等
ちょっとした困りごとはお気軽にご相談ください。
料金は修理する部材の費用だけです。
工事代や交通費等の費用はかかりません。
校区の仲間が応援いたしますので安心です。
気軽に 町内役員さん、評議員さん、
民生委員さん等へご連絡下さい。
又は 三苫公民館 電話 までお電話下さい。

問い合わせ先

福岡市東区社会福祉協議会（電話：092-643-8922）



2丁目ボランティアの会ブルーネット

活動目標

美和台2丁目に居住する人々が日常地域で安心して暮らすことができるように支援体制を作り、支え合いのあるまちづくりの手助けをしていく。

概況

結成時期 平成14年9月

活動地域 美和台2丁目 町内

ボランティア数 25名（男性5名・女性20名）

活動対象 活動地域内の全住民 **活動日** 特に制限なし（年末年始も対応）

利用料 有料

- ・1～2時間の内容…300円×人数
- ・30分～1時間の内容…200円×人数
- ・ふれあいサロン活動は、参加者が1回100円負担

活動実績(月平均) 依頼件数 1～2件 / 活動件数 1～2件

規約・会則の有無 有

東区美和台校区

人口 15,694名
高齢化率 24.1%

活動地区の特色

人口約1,400人、高齢化率32%、小学校や公園・池がある町で、丘陵地の谷間に位置している。平成20年4月からボランティア宅を使ったふれあいサロン、同年9月からは子どもを見守る活動を行っている。ふれあいサロンは、他の町内会と合同で開催していたが、26年度からは、分かれてブルーネットサロンを実施することになっている。ふれあいネットワーク活動も実施されている。

活動開始のきっかけ

現在の代表が、民生委員になって7年経過したときに、今後、町内の高齢者が増えていく中で、近所でお手伝いできる仕組みがあった方がいいのではないか、と考えた。

立ち上げまでの流れ

校区のふれあいサロン等のボランティアが町内にいたことから、代表が、その人達に、ボランティアグループを作りたいと投げかけた。その後、有志で町内会長や区社協に相談し、立ち上げに至った。

活動内容

ゴミ出し ・ 買い物 ・ 外出支援 ・ 掃除 ・ 話し相手 ・ 草取り
電球交換 ・ ふれあいサロン活動（送迎含む） ・ 子どもの見守り活動
網戸はり ・ 通学路の掃除住宅用火災報知機設置

活動までの流れ

受付対応場所 代表者等の個人宅

マッチング方法 事務局が、できる人に声をかけて調整する。

活動時のルール 2人以上の体制で活動する。

安くて、気軽に利用させてもらっています。助かります。



利用者の声

・仲間づくりができること。
・ボランティアしながら、自分が楽しめること。



活動していて
よかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・遠慮して頼まない人がいる。
- ・ボランティアが少ないので、若い人を入れて次につなげていきたい。

平成25年4月1日
2丁目ボランティア
ブルーネット
No. 10号

「ブルーネットだより」
毎月発行の「ブルーネットだより」は、
活動の場として日々の生活をお助けしよう、
遠くでも気軽に活動できることに入っています。また、若い世代の参加も、
子どもの安全な活動もできるように努めます。
このように、何でも行きたい方に、見守りが、心配が……と不安の声も多くな
りました。
ブルーネットでは、少しでも参加が気軽に安全な活動できるように、少
しでも不安な声は、お気軽に相談していただきたいと思います。
お困りごとがあればお電話ください。

ブルーネット
おしゃべりサロンに来てみませんか…
日 時：毎月第二月曜 午後1:00～3:00
場 所：ブルーネット事務局
参加費：100円（お振込）
おしゃべり、料理、健康、旅行等の楽しい話題
であつとるおしゃべりです。
どなたでもお気軽にご参加ください。

ボランティア会員募集中

問い合わせ先

福岡市東区社会福祉協議会（電話：092-643-8922）



和白丘2丁目ボランティアの会 あしたばの会

活動目標

和白丘2丁目に居住する人々が地域で安心して暮らすことができるように支援体制を作り、思いやり支え合って過ごしていける町内作りの手助けをし、ボランティア会員同士の親睦を図る。

概況

結成時期 平成19年1月

活動地域 和白丘2丁目 町内

ボランティア数 17名（男性6名・女性11名）

活動対象 高齢者、障がい者、子育て世帯 **活動日** 特に制限なし（年末年始も対応）

利用料 有料

- ・1～2時間の内容…300円×人数
- ・30分～1時間の内容…200円×人数
- ・ふれあいサロン活動は、参加者が1回200円負担

活動実績(月平均) 依頼件数 5～6件 / 活動件数 1～2件

規約・会則の有無 有

東区美和台校区

人口 15,694名
高齢化率 24.1%

活動地区の特色

人口約1,800人、高齢化率18%、病院や高校、スーパーがある町で、丘陵地と低地の両方がある地区。平成20年4月から、集会所を使ったふれあいサロンが発足しており、ふれあいネットワークも実施されている。

活動開始のきっかけ

町世話人制度*がなくなり新町内会長になったのを機に、民生委員である代表が、町内に一人暮らしの高齢者がたくさんいることに気づき、何か集まる機会があれば、と考えた。

立ち上げまでの流れ

校区のふれあいサロン等のボランティアが町内にいたことから、代表が、その人達に、ボランティアグループを作りたいと投げかけた。その後、有志で町内会長や区社協に相談し、立ち上げに至った。

*町世話人制度…昭和28年6月制定の「福岡市町世話人規則」により開始された福岡市独自の制度。同制度により委嘱された「町世話人」は、行政事務の補助的な業務等を含め、様々な業務を担っていた。その後、平成16年3月末をもって廃止された。

活動内容

ゴミ出し ・ 買い物 ・ 外出支援 ・ 話し相手 ・ 電球交換
ふれあいサロン活動 ・ 夏祭りの支援 ・ 住宅用火災報知機設置
惣菜のおすそわけ ・ 子育て支援（自宅開放）

活動までの流れ

受付対応場所 代表者等の個人宅

マッチング方法 代表者が、できる人に声をかけて調整する。

活動時のルール 原則として2人体制で活動する。

サロンに参加するのが楽しみです。



利用者の声

- ・相手から喜ばれること。
- ・活動がきっかけで関係ができ、サロンに出てきてくれるようになったこと。
- ・サロンなどで、普段は話さない人が話してくれるようになったこと。



活動していて
よかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・近所であるからこそ頼みにくいという人がいる。
- ・校区内に高校があるので、高校生なども含め若いボランティアを入れていきたい。

問い合わせ先

福岡市東区社会福祉協議会（電話：092-643-8922）



香住丘ボランティアの会

活動目標

家事一般の援助を必要とする校区住民に対し、サービスを提供するとともに、誰もが安心して暮らせるように、地域社会の支え合いの輪を広げていく。

概況

結成時期 平成14年4月

活動地域 香住丘小学校区内

ボランティア数 15名（男性1名・女性14名）

活動対象 活動地域内の全住民 活動日 特に制限なし（年末年始は対応不可）

利用料 有料
・1回300円（+交通費実費）

活動実績(月平均) 依頼件数 6件 / 活動件数 5件

規約・会則の有無 有

東区香住丘校区

人口 17,446名
高齢化率 18.5%

活動地区の特色

福岡市東区内で人口が第1位で、世帯数は第2位と人口規模が大きい校区。校区内に大学が3つあり、学生も多いが、戸建てやアパートには高齢者も多く、高齢化率は区平均だが、高齢者数は3,000人と多い。丘陵地もある。ふれあいネットワーク活動が27町中25町内で実施されており、ふれあいサロンは校区内2か所で実施されている。

活動開始のきっかけ

家で一人で留守番していた子が（親が兄の入学式に参加）、家を飛び出し泣いているところを保護されたことがきっかけで、校区で何かできないか考え始めた。

立ち上げまでの流れ

平成13年7月から、校区社会福祉協議会で準備会を開催。6回実施した後、立ち上げに至った。

活動内容

ゴミ出し ・ 外出支援 ・ 掃除 ・ 話し相手 ・ 草取り ・ 電球交換

活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 公民館が代表者に連絡し、代表者が調整する。

活動時のルール 原則として2人体制で活動する。1回2時間、継続の場合は月2回まで。

いつも訪問を楽しみにしています。



利用者の声

・相手から喜ばれること。
・ボランティア自身の生きがいになっていること。



活動して
よかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・地域に浸透していない。また、同じ地域の人に頼むのを敬遠される方がいる。
- ・ボランティアの高齢化が進んでいるので、若い人を入れていきたい。
- ・定例会のあり方や、校区のネットワーク活動との連携についてなど、組織のあり方の検討を進めていきたい。



問い合わせ先

福岡市東区社会福祉協議会（電話：092-643-8922）



七桜会（ななおかい）

活動目標

高齢者等の生活支援と町内住民の交流推進

概況

結成時期 平成25年4月

活動地域 城浜校区7区 町内

ボランティア数 16名（男性10名・女性6名）

活動対象 活動地域内の全住民 活動日 特に制限なし（年未年始も対応）

利用料 無料（材料費・交通費等の実費のみ利用者負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 4件 / 活動件数 4件

規約・会則の有無 有

東区城浜校区

人口 3,723名
高齢化率 40.9%

活動地区の特色

市営団地4棟（5階建）より構成される町内。ふれあいサロン「よかよかサロン」のボランティアも七桜会に協力しており、サロンでPRをしているため、サロン利用者からの依頼も多い。

毎月町内清掃後に定例会を開催し、定例会後に交流会をすることもある。交流会は、ボランティアから「町内をもっとこうしたい」といった提案が聞ける場でもあり、七桜会の活動が町内会の活性化にもつながっている。

活動開始のきっかけ

高齢者の見守り活動を進める中で、電球交換や家具の移動などちょっとした困りごとを抱えている高齢者が多いということがわかり、助け合える町内会を目指して結成された。

立ち上げまでの流れ

平成25年1月に、サロンのボランティア会議でちょっとしたことに困っている高齢者が多いことが話題にのぼり、立ち上げに向けて動き出した。平成25年2～3月に、結成までのスケジュールやボランティアの募集、説明会の実施等について町内会長・副会長と協議を続けた。

チラシの掲示とボランティアになってほしい住民への個別の声かけ、説明会・交流会を実施し、グループの立ち上げに至った。町内清掃時に住民へ周知するとともにチラシを各階段の掲示板に貼り出している。

活動内容

ゴミ出し ・ 買い物 ・ 外出支援 ・ 掃除 ・ 話し相手 ・ 洗濯 ・ 草取り
電球交換 ・ 家の中の修繕 ・ 男性の協力が必要な側溝の清掃や町内パトロール活動 等
※活動内容は厳密には決めておらず、対応できる内容であれば依頼を受ける。

活動までの流れ

受付対応場所 代表者の個人宅

(「依頼者→各棟の組長→代表者」という流れ。実際は直接代表者やボランティアに依頼があることもある。)

マッチング方法 依頼を受けたら、2名以上で訪問し状況確認を行う。必要人員を確保し、日程調整を行う。代表者以外が活動した場合は報告を受ける。

活動時のルール 必ず2名で訪問する。

- ・一人暮らしで困ったときに相談し助けられるので安心できます。
- ・依頼するとすぐに対応してもらえるのでうれしいです。



利用者の声

- ・“地域デビュー”のきっかけとなり、町内住民の顔や名前が分かるようになったこと。
- ・活動を始めてから一人暮らし高齢者の安否が気になり、自然と見守りをするようになったこと。



活動していてよかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・活動者を増やしたい。若い住民もメンバーに入れたい。
- ・依頼を迷っている人がいるようなので、もっと周知していきたい。
- ・堅苦しいルールは決めず、町内住民のニーズに応える団体として活動していきたい。
- ・七桜会がきっかけとなり、町内で気軽に声を掛け合い助け合える町になってほしい。また、校区内に活動が広がってほしい。

七桜会 (ななざくらかい)
★7区町内 生活支援グループ★

家の電球交換が
できなくて…

家具を移動
したいけど…

ちょっとした困りごとの
お手伝いをします (無料)

対象者: 独居高齢者など困っている方
希望される方は組長へご連絡ください

※お問い合わせ
[]

メンバー募集中!
七桜会では、町内清掃の機
に、会員の親睦会も行っ
ています。一緒に町内活動
を楽しみましょう。



問い合わせ先

福岡市東区社会福祉協議会 (電話: 092-643-8922)



Be-すけっと・あおば（通称：ビスケット）

活動目標

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり

概況

結成時期 平成21年3月

活動地域 青葉小学校区内

ボランティア数 55名（男性27名・女性28名）

活動対象 高齢者・障がい者 活動日 特に制限はないが依頼者と相談の上活動

利用料 無料（材料費・交通費等の実費のみ利用者負担）

規約・会則の有無 無

東区青葉校区

人口 12,315名
高齢化率 21.8%

活動地区の特色

高齢化率が高い地域であるが、特別支援学校や療育センターがあることもあって、社会福祉にとっても理解がある地域である。また、各種団体の活動も活発で協力体制もとりやすい地域である。

活動開始のきっかけ

校区福祉座談会を開催する中で、生活支援の必要性が浮かび上がってきた。

立ち上げまでの流れ

福祉座談会を数回開催した後、校区社会福祉協議会の役員会を数回実施し細部をつめていった。各自治会で対応できる場所はお願いし、ふれあいネットワーク活動も含めてBe-すけっと・あおばの活動として考え、特に、ふれあいネットワーク活動が行われていない町での活動を中心的に行うこととなった。

活動内容

ゴミ出し ・ 買い物 ・ 外出支援 ・ 話し相手 ・ 草取り ・ 庭木の剪定
電球交換 ・ 家の中の修繕 等
※町によって活動内容が多少異なる。

活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）、代表者等の個人宅

マッチング方法 公民館に集合して行う。

活動時のルール 2名以上で訪問する。守秘義務を守る。

- ・高齢者で力仕事や高いところの作業ができないので助かります。
- ・訪問日を楽しみにしています。



利用者の声

- ・依頼者が「助かりました」と言ってくださり、笑顔に触れられること。
- ・地域の人と顔見知りになってつながりができ、気軽に声かけできるようになったこと。



活動していてよかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・校区全体に活動を拡大させ、若いボランティアを発掘していきたい。
- ・無理をせず、身近なところから取り組んでいきたい。



問い合わせ先

福岡市東区社会福祉協議会（電話：092-643-8922）



はまおう助っ人センター

- 活動目標
大浜地域住民が、それぞれができることでお互いに助け合い、支え合うことを通して、住みよい『よか大浜』づくりを推進する。

概況

結成時期	平成25年6月		
活動地域	博多校区大浜地区内		
ボランティア数	42名（男性20名・女性22名）		
活動対象	活動地域内の全住民	活動日	特に制限はない（年末年始も対応）
利用料	無料（材料費・交通費等の実費のみ利用者負担）		
活動実績(月平均)	依頼件数 5件	活動件数	5件
規約・会則の有無	有		

博多区博多校区大浜地区

人口 4,683名
高齢化率 12.7%

活動地区の特色

商業施設と住宅街の面積が地区の半分ずつを占め、町内によって高齢化率の差が大きい。住宅街は集合住宅と戸建てが半々である。世帯数、人口ともに増加傾向にあり、これは集合住宅の新設に伴うもので、特に単身世帯の占める割合が高くなっている。反面、従来の戸建て居住者の高齢化が進んでいるため、福祉活動の重要な対象者となっている。

活動開始のきっかけ

ふれあいネットワーク活動の立直しを図る中で、生活支援の必要性が浮かび上がってきた。

立ち上げまでの流れ

校区社会福祉協議会の役員会やふれあいネットワーク定例会、また、夏休みボランティア講座や地域福祉アンケートを踏まえ、校区福祉座談会を実施しながら、グループの立ち上げに向けて住民同士で意見交換を行い、内容をつめていった。

活動内容

ゴミ出し ・ 買い物 ・ 外出支援 ・ 掃除 ・ 庭木の剪定 ・ 電球交換
その他（こたつの分解・組立、煙感知機の設置 等）

※依頼内容は基本的にはすべて受付、メンバーで活動可能か検討している。

活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 毎月第1火曜日に会の定例会を行い、調整する。緊急の依頼の場合は、依頼のあった地区の理事が調整を行う。

活動時のルール 2名以上で訪問するようにしている。お礼は絶対に受け取らないようにしている。

- ・ 依頼をきっかけに、その後も気にかけてもらえることが何よりうれしいです。
- ・ “助っ人”（ボランティア）のベスト姿を見かけると、安心し頼もしく思います。



利用者の声

- ・ 感謝の言葉が今後の活動の励みになっていること。
- ・ 地域の各種団体の垣根を越えたボランティア活動ができていくこと。
- ・ “助っ人”で楽しく活動する中で、助っ人同士の連帯感が芽生えたこと。



活動していて
よかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・ 他人に迷惑をかけたくないという遠慮がまだまだあるようなので、依頼を出しやすくするような工夫が必要である。
- ・ 各町単位での“助っ人センター”の立ち上げを進めていきたい。



問い合わせ先

福岡市博多区社会福祉協議会（電話：092-436-3651）



ちよいボラ西高宮

活動目標

「このまちに住んでよかった」と思えるまちづくりを目指す

概況

結成時期 平成21年7月

活動地域 西高宮小学校区内

ボランティア数 46名（男性10名・女性36名）

活動対象 高齢者・障がい者 活動日 月～土（年末年始は対応不可）※電球交換は日祝日も実施

利用料 有料
・1回100円（依頼は週2回まで）

活動実績(月平均) 依頼件数 10件 / 活動件数 10件

規約・会則の有無 有

南区西高宮校区

人口 17,342名
高齢化率 16.1%

活動地区の特色

都心部に近く、交通の利便性が高い生活中心の地域でマンションが多い校区。校区人口は、約1万7千人と区内で一番多い。そのため、高齢化率は、市・区と比較すると低い割合だが、65歳以上の人口は区内で最も多い。

高齢者がなるべく歩いて参加できるように、2つの会場で毎月1回ふれあいサロン活動を実施している。また、ふれあいネットワーク活動の訪問時に、ちょっとした生活上の困りごとの相談を受けた場合には、ちよいボラ西高宮の活動へつなぐ等の連携を図っている。

活動開始のきっかけ

校区で福祉座談会を実施したことがきっかけとなっている。

地域内の高齢者や障がい者が、ゴミ出しや電球交換などのちょっとしたことができない時に、その部分をお手伝いすることによって、その方の地域生活が続くような支えになりたい、誰もが安心して暮らせるよう地域社会の支え合いの輪を広げていきたいという思いから活動が始まっている。

立ち上げまでの流れ

平成18年から3年間で「福祉座談会」を計6回開催。「お互いに助け合い、支え合うまちづくり」をテーマに、地域のいろいろな福祉課題を出し合い、その問題解決に向けて、自分たちができることは何なのかを話し合う中で、立ち上げが進んだ。

活動内容

ゴミ出し ・ 話し相手 ・ 電球交換 ・ その他（女性でもできる程度の軽作業）

活動までの流れ

受付対応場所 公民館（専用携帯電話で受付）

マッチング方法 公民館に置いている専用携帯電話で、依頼内容を聞き取る。公民館から代表に依頼内容等を伝え、代表者がボランティアと連絡をとり調整する。

活動時のルール 原則2名で訪問するようにしている。

“ちょいボラ” にとても助けられています。



利用者の声

・ほとんど外出ができない依頼者が、訪問を楽しみにしてくれていること。



活動していてよかったと思うこと

課題と今後の目標

もう少し活動内容を広げたいが、無理をしたら長続きしないので、当面今のままで頑張っていこうと思う。



問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）





南区柏原校区

おたすけ隊「えぷろん」

活動目標

高齢者へ手を差し伸べる

概況

結成時期 平成21年6月

活動地域 柏原小学校区内

ボランティア数 20名（男性10名・女性10名）

活動対象 高齢者・障がい者・子育て世帯 活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 有料
・1回200円（買い物支援の場合は、保険料を利用者が負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 1件 / 活動件数 1件

規約・会則の有無 有

南区柏原校区

人口 9,508名
高齢化率 22.2%

活動地区の特色

油山の裾野に広がる校区。区内で面積は1番大きいですが、人口密度は最も低く、また、1世帯あたりの人数は最も多く（2.53人）、単身世帯の割合は最も低い地域である。

ふれあいネットワーク活動は、6自治会全町で実施されており、平成23年度にはふれあいサロン「しゃべり場かしはら」が立ち上がり、公民館で開催されている。

活動開始のきっかけ

校区社会福祉協議会主催の福祉懇談会で、高齢者を対象とした生活支援の要望が出たことから、結成に向けて動き始めた。

立ち上げまでの流れ

会のPRを、校区社協の広報紙等で行ったり、シニアクラブに依頼して協力を得たりしながら、立ち上げを進めた。

活動内容

ゴミ出し ・ 話し相手 ・ 電球交換
その他（自宅とスーパーマーケットの間の送迎をお試し活動中）

活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）、代表者等の個人宅

マッチング方法 依頼内容や作業時間に応じてボランティアを選んでいる。

活動時のルール 必ず2名で訪問するようにしている。

- ・すぐに対応してもらえるので助かっています。
- ・気軽に頼めるのがいいです。
- ・カーペットの移動で大変だったときなど、とても助かりました。



利用者の声

- ・利用者からありがとうの言葉やあいさつをいただけること。
- ・地域の高齢者と顔見知りになり、交流の輪が広がったこと。



活動していてよかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・広報の仕方を工夫して、自分たちの活動をもっと知ってもらうようにしたい。
- ・今後は、高齢者の買い物支援の活動もやっていきたいと考えている。



問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）





たすけ愛隊

活動目標

校区の高齢者や障がい者等の困りごとを解決する。必要に応じて地域での見守りや防犯、防災、その他の支援へつないでいくなど、活動を通して住民同士のふれあいや地域全体で支え合える体制づくりを促進し、地域社会に貢献する。

概況

結成時期 平成25年10月

活動地域 東花畑小学校区内

ボランティア数 43名（男性30名・女性13名）

活動対象 高齢者・障がい者・その他会が必要と判断した人

活動日 特に制限はない（年末年始は状況による）

利用料 有料

・基本30分300円（+材料費は実費負担）

※庭木選定や草取り等は、別途見積もりを行い、依頼者了解のうえで実施。

活動実績(月平均) 依頼件数 5件 / 活動件数 5件

規約・会則の有無 有

南区東花畑校区

人口 9,211名

高齢化率 29.6%

活動地区の特色

南区で最も高齢化率が高く、戸建て中心の校区。「地域福祉“5愛”推進会」という、高齢者や障がい者の支援について各関係団体間で協議するネットワークがあり、校区全体で高齢者等の見守りや災害時の支援体制づくりに取り組んでいる。

活動開始のきっかけ

平成24年度に要援護者に対する調査を実施したところ、校区の高齢者や障がい者が生活のちょっとした困り事を抱えていることが明らかになり、「何か自分達にできることで支援をしたい」という思いを持った人材が集まって、会を立ち上げた。

（平成22年頃より、校区において立ち上げの提案はあったが保留になっていた。）

立ち上げまでの流れ

平成25年に立ち上げ準備委員会を発足し、約半年間の協議の上、立ち上げに至る。（その間、各団体への説明、協力要請等も併せて実施。）

活動内容

ゴミ出し ・ 買い物 ・ 掃除 ・ 話し相手 ・ 草取り ・ 庭木の剪定
電球交換 ・ 家の中の修繕 ・ 薬取り ・ 花の水やり ・ 衣替えや模様替え
その他軽作業

活動までの流れ

受付対応場所 専用携帯電話

マッチング方法 電話で状況を聞き取り（必要に応じて事前訪問）、なるべく依頼者の近隣のボランティアで調整する。

活動時のルール 原則1名で対応するが、作業内容や状況に応じて複数人で対応する。

- ・ ありがたく、心強いです。安心して生活ができます。
- ・ このような活動があるということを知りたかったです。



利用者の声

- ・ 利用者が大変喜んでくれること。
- ・ 低額・有償の活動であるため、利用者・活動者がともに心から感謝しながら活動ができること。



活動していてよかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・ これからの会の運営をしていく人材をいかに育成していくかが課題である。
- ・ 会の認知度を上げるPRを持続し、活動内容を向上させていくとともに、多くの口コミにより利用者数を増やしていきたい。
- ・ 校区内の各団体や校区住民から「何か困ったことがあったら『たすけ愛隊』に相談してみよう」と頼りにされるグループになりたい。
- ・ 見守りや防犯、防災などの活動とも連携しながら、校区の支え合いを広げていきたい。

お困り事、ございませんか？

たすけ愛隊

がお手伝いします！

300円 / 30分 で解決します！

★電球の交換 ★家具調子の移動 ★ゴミ出し
★買い物の代行 ★花の水やり ★庭木の剪定
★薬取り、草取り ★その他軽作業 など

新旺徳地区 生活支援グループ「たすけ愛隊」専用受付電話

ご利用できる方：現在居住区内に居住する高齢者、障がい者の居住区外の方、生活困難者、市内の障がい者、また現在生活困難者の方など、お気軽にお電話ください！

※利用料、活動費等はすべて依頼者負担です。また、たすけ愛隊は、新旺徳地区の活動、活動費等は、市内の障がい者、また現在生活困難者の方など、お気軽にお電話ください！



問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）





南区若久校区

若久おたすけ隊

活動目標

地域高齢者の困りごとに対応する

概況

結成時期 平成24年8月

活動地域 若久小学校区内

ボランティア数 32名（男性14名・女性18名）

活動対象 高齢者

活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 有料
・1回100円

活動実績(月平均) 依頼件数 4件 / 活動件数 3件

規約・会則の有無 有

南区若久校区

人口 11,235名
高齢化率 17.9%

活動地区の特色

校区内を通称・大池通りと若久通りという大きな道路が通っている。また、医療機関の数が比較的多い地域である。

ふれあいネットワーク活動が17自治会全町で実施されており、ふれあいサロンは校区内2か所で活動している。

活動開始のきっかけ

団塊の世代が集まり、何か役立つことを始めようと思ったこと。

立ち上げまでの流れ

月1～2回会議を行い、メンバーで話し合いを重ね、立ち上げに至った。



活動内容

電球交換 ・ その他（カーペットの移動、軽度な家具の移動 等）

活動までの流れ

受付対応場所 専用携帯電話

マッチング方法 依頼内容や作業時間に応じてボランティアを調整する。

活動時のルール 必ず2名で訪問するようにしている。

- ・安心してお願いすることができます。
- ・作業がきっかけで、あいさつが気軽にできるようになってうれしいです。

利用者からありがとうの言葉をいただくこと。



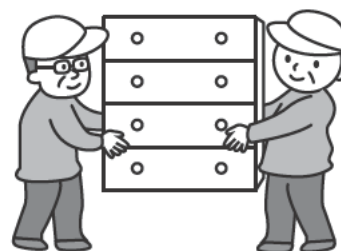
利用者の声



活動していてよかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・広報の仕方に課題がある。また、活動内容の拡大に向けて取り組んでいきたい。



問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）





南区高木校区

高木手足の会

活動目標

高齢者の困り事解消の支援を行うことにより、校区内の高齢者の安全と安心を推進する。

概況

結成時期 平成25年12月

活動地域 高木小学校区内

ボランティア数 26名（男性22名・女性4名）

活動対象 高齢者

活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 有料

・1回100円（+材料費は実費負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 5件 / 活動件数 3件

規約・会則の有無 有

南区高木校区

人口 8,471名
高齢化率 17.3%

活動地区の特色

単身世帯と子育て世帯が多く、働き盛りの世代が多い校区である一方、古いアパートや戸建て等に高齢者も多く暮らしており、高齢化も進んでいる。

校区の地域福祉活動としては、ふれあいサロン活動が3か所で実施されているほか、校区内を3ブロックにわけて、ふれあいネットワークが町内会長・民生委員・ボランティアの連携のもと実施されている。

活動開始のきっかけ

以前校区内の団地で生活支援ボランティアグループが立ち上がったが、依頼がなく活動が休止したことから、校区社会福祉協議会の内部組織として校区全体に範囲を広げたグループを再度立ち上げることになった。

立ち上げまでの流れ

校区社会福祉協議会の総会で承認を得て、校区社協会長推薦の委員による準備委員会を設置し、5回の準備委員会の協議を経て発足した。

活動内容

電球交換 ・ 家具の移動 ・ 荷物の上げ下ろし ・ 空調のフィルター清掃

活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 事務局で依頼を受け、ブロックの代表者に連絡し、ボランティアを調整する。

活動時のルール 原則2名で訪問するようにしている。

身近な場所に気軽に相談できるようになり、安心感があります。



利用者の声

困っている人が、思っていた以上に多くいるのだと気づけたこと。



活動してよかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・ 今後、どのような範囲まで活動していくか検討していかなければならない。買い物支援など、取り組んでいけそうなものを検討し、住民のニーズに柔軟に対応していきたい。
- ・ 校区内の店舗に協働を呼びかけていきたい。

高木校区社会福祉協議会
「高木手足の会」
高齢者の困り事のちょっとしたお手伝いをいたします。

対象者：
高木校区に住む概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者及び概ね70歳以上の高齢者天晴世帯

こんな事で困っていますか？

- ・ 電球の交換
- ・ 家具の移動（2人で移動出来る程度）
- ・ 空調のフィルター清掃
- ・ 高い場所にある荷物の上げ下ろし

ご連絡ください

高木校区社会福祉協議会「高木手足の会」
事務局（高木公民館内）
TEL. [REDACTED]
お気軽にご相談ください！

【これまでの活動事例（1/20現在）】
・ 電球のかさの上にたまったほこりの掃除
・ 電球のかさの掃除

★「高木手足の会」ご利用上の留意点★
① 受付時間：月～金 午前10時～午後4時
（年末年始はのぞきます。）
② 費用：100円（電球交換等の場合は、実費負担）
③ 訪問時間：ご相談の上、決定させていただきます。

問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）



ボランティアセンター「のぞみ弥永」

活動目標

誰もが安心して暮らせる地域、これからもずっと住んでいたい地域を作る。

概況

結成時期 平成16年1月

活動地域 弥永小学校区内、必要と判断した場合は校区外も対応

ボランティア数 38名（男性8名・女性30名）

活動対象 活動地域内の全住民 **活動日** 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 無料（材料費・交通費等の実費は利用者負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 10件 / 活動件数 10件

規約・会則の有無 有

南区弥永校区

人口 6,589名
高齢化率 29.2%

活動地区の特色

全世帯の2分の1が築45年を経過した団地で、住民も独居高齢者も多い。
ふれあいネットワーク活動は、11自治会全町で実施している。また校区内で2つのふれあいサロンが活動している。

活動開始のきっかけ

公民館でのボランティア講座がきっかけで発足。団地等での孤独死の問題もあり、「地域を元気に、ボランティアはできることからコツコツと」をモットーに活動を開始した。

立ち上げまでの流れ

他団体等との情報交換を行い、チラシを作成。活動に向けて協力の呼びかけを行っていった。



活動内容

ゴミ出し ・ 買い物 ・ 外出支援 ・ 掃除 ・ 話し相手 ・ 草取り
庭木の剪定 ・ 電球交換 ・ 家の中の修繕 ・ 子育て支援
託児（子育てサロンの手伝い）

活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 基本的には、月例会で調整を行う。

活動時のルール 買い物や金銭の扱いが生じる場合は、必ず2名で訪問するようにしている。

- ・安心していろいろなことをお願いできて、とても助かっています。
- ・ひとり暮らしで電球の取り替えができず困っていたとき、すぐに対応してもらい、安心しました。



利用者の声

- ・利用者から感謝の言葉をもったり、笑顔に接したりすること。
- ・利用者が、校区行事に参加されたり、公民館にあいさつに来られるようになること。



活動していて
よかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・結成11年になり、継続した活動を続けていくことの大切さを感じている。地域住民から気軽に声をかけてもらえる団体として、長く活動していきたい。
- ・ボランティアも高齢になってきたので、若い世代の協力を呼びかけ、講座等にも力を入れていきたい。



問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）



ふれあいサポート

活動目標

住み慣れた地域で安心・継続して生活できる地域づくりを行うため、公的サービスでは対応できない福祉ニーズに対して、地域住民の参加によるサービスを低額・有償で提供する、会員制の新たな助け合い・支え合い活動を行う。担い手として、団塊の世代をはじめ、経験豊かで元気なシニア世代を中心とした地域住民の有志で組織された自治会・町内会単位の団体とし、各種団体と連携して地域に根ざした継続性のある活動を目指す。「ふれあいネットワーク」及び「各サロン」活動との連携を密にし、重層的な見守り・支援につなげる。また、この活動を通じて、シニア世代の生きがいを高め、仲間作りを進め、地域における新たな連帯の輪を広げることを目指す。

概況

結成時期 平成25年7月

活動地域 七隈小学校区内

ボランティア数 54名（男性39名・女性15名）

活動対象 高齢者等

活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 有料

・30分350円（+材料費等は実費負担）チケット制（10枚つづり）
・入会金1,000円

活動実績(月平均) 依頼件数 3件 / 活動件数 2.5件

規約・会則の有無 有

城南区七隈校区

人口 12,823名
高齢化率 21.8%

活動地区の特色

校区内に大学や大学病院があり、豊かな自然に恵まれた住宅街である。戸建てが多い校区であり、高齢化率は高い。ふれあいネットワーク活動が全町内で実施されており、班会議や推進会議が活発に行われている。ふれあいサロンは6箇所で開催されており、町内単位によるサロン開催となっている。

活動開始のきっかけ

ある地域役員が超高齢社会に関する新聞記事を目にしたことがきっかけで、校区社会福祉協議会や自治協議会等で高齢者に対する互助活動の取り組みについて話し合われることとなった。

立ち上げまでの流れ

平成23年度から検討委員会が開催され、活動概要の説明や他地区の活動の調査を進めた。24年度に校区社協の事業として位置づけられ、その後各町内での説明会や広報活動を開始した。また地域住民を対象にボランティア講座を実施した。25年度から、体制が整った町から活動を開始した。

活動内容

ゴミ出し ・ 外出支援 ・ 話し相手 ・ 草取り ・ 庭木の剪定 ・ 電球交換
窓ガラス拭き ・ 模様替え ・ 家具組立 ・ 包丁研ぎ ・ 花木の水やり

活動までの流れ

受付対応場所 代表者等の個人宅

マッチング方法 会員から連絡窓口へ依頼が入り、原則町内の支援会員の中から対応可能な会員を選定する。その後日程調整を行い、活動に入る。

活動時のルール 会員証を携帯し、ユニフォームを着用する。

- ・他のサービスよりも低額で利用できるため、金銭的に安心です。
- ・町内の方が活動してくれるので、顔がわかり安心できます。
- ・チケット制のため、支払いが楽で、依頼しやすいです。



利用者の声

- ・町内の高齢者のお役に立てたという達成感があること。
- ・向こう三軒両隣のように、校区や町内の住民同士の繋がりが深まったこと。
- ・町内の役員が連絡窓口になっていることが多く、町内の状況が把握できるようになったこと。



活動していてよかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・運営費の不足、校区内の高齢者への事業の浸透度が低いこと等の課題がある。
- ・初年度の活動状況及び成果をふまえ、課題改善のための協議を重ね、本事業を発展させていくとともに、他機関との連携により、利用者を発掘していきたい。
- ・本事業から得られるノウハウや課題を参考に、福岡市内の他地域でも取り組めるよう、手法として確立していきたい。



問い合わせ先

福岡市城南区社会福祉協議会 (電話: 092-832-6427)





早良区原西校区

原西おせっ会

活動目標

地域高齢者及びこれに準ずる方が日常安心して暮らすことができるように、ボランティア活動により、支え合いのある町づくりをしていく。

概況

結成時期 平成24年12月

活動地域 原西小学校区内

ボランティア数 39名（男性19名・女性20名）

活動対象 高齢者・障がい者・その他高齢者に準ずる人 活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 無料（材料費等の実費は利用者負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 2件 / 活動件数 1件

規約・会則の有無 有

早良区原西校区

人口 11,167名
高齢化率 22.0%

活動地区の特色

町数20町からなる校区で、今後数年でさらなる高齢化が予想されているが、地域に貢献したいと考える人が多く、見守り活動やサロン活動などが盛んに行われている。

活動開始のきっかけ

公民館で、「一人暮らしの高齢の方は電球の交換など困っているのでは?」「地域で何をしたいかわからず、時間を持て余している人がいるのでは?」という話が出て、二つを結びつける「ボランティア養成講座」を始めたことがきっかけとなった。

立ち上げまでの流れ

平成23年度にボランティア養成講座を4回シリーズで開催、24年度には毎月講座を開催した。学習会や打ち合わせを行い、また、実行委員会を立ち上げ具体的な活動について話し合っていた。



活動内容

ゴミ出し ・ 話し相手 ・ 電球交換 ・ 季節ものの入れ替え

活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 公民館が会の代表に連絡し、ボランティアを調整する。（なるべく依頼者の近隣から探す）

活動時のルール 必ず2名で訪問するようにしている。依頼を断る際は、なるべく直接会って断るようにしている。

思い切って頼んでみてよかったです。



利用者の声

依頼者から、喜んでもらえることはもちろん、ボランティアする側の生きがい作りにもなっていること。



活動していてよかったですと思うこと

課題と今後の目標

このまま無償で続けていくのか、受け入れ間口を広げるのか、広報をどのように行っていくかなどの課題がある。もっと気軽に頼んでもらえるように工夫したい。



問い合わせ先

福岡市早良区社会福祉協議会（電話：092-832-7383）



原南自治会福祉会「たのまん会」

活動目標

町内で困っている人の手助けを行う。

概況

結成時期 平成23年8月

活動地域 原南団地 町内

ボランティア数 11名（男性11名）、1団体（建設会社）

活動対象 活動地域内の全住民（高齢者優先） **活動日** 主に第2・4日曜日（年末年始は対応不可）

利用料 有料

- ・包丁研ぎ1本300円等の基本料金設定あり
- ・材料費等の実費は利用者負担

活動実績(月平均) 依頼件数 2件 / 活動件数 2件

規約・会則の有無 有

早良区賀茂校区

人口 10,167名
高齢化率 21.3%

活動地区の特色

戸建て約150世帯で形成された団地。高齢化率は30%近くになりつつあるが、町内の結束力が強く、助け合いの精神が浸透している。

活動開始のきっかけ

先々代町内会長が高齢化に対応したサービスの必要性を思っって発案したのがきっかけとなった。

立ち上げまでの流れ

町内会の回覧版でボランティア参加者（応募者の得意分野など）を募集し、応募者が話し合っって活動日等を決めていった。



活動内容

草取り ・ 庭木の剪定 ・ 電球交換 ・ 水道コマ交換 ・ 自転車パンク修理
包丁研ぎ ・ 古紙運搬

活動までの流れ

受付対応場所 注文書を町内会集会所のポストに投函して申込み

マッチング方法 申し込みのあった家に連絡をとり、日程を調整する。

活動時のルール 原則2名以上で対応する。

頼みたいときに対応してもらえるので助かっています。



利用者の声

ささやかではあるが、地域の連携の絆となっていること。



活動して
よかったと思うこと

課題と今後の目標

申込者が少ないため、PRに力を入れていきたい。



問い合わせ先

福岡市早良区社会福祉協議会（電話：092-832-7383）



楽まれ隊（たのまれたい）

活動目標

支え合い・助け合いのある四箇田校区を目指して、校区内にお住まいの高齢者の方々のお手伝いをする。町内で困っている人の手助けを行う。

概況

結成時期 平成25年10月

活動地域 四箇田小学校区内

ボランティア数 19名（男性16名、女性3名）

活動対象 高齢者

活動日 特に制限はない

利用料 有料

・1回100～500円（活動内容によって異なる）

規約・会則の有無 有

早良区四箇田校区

人口 7,999名

高齢化率 24.0%

活動地区の特色

早良平野の中心にマンモス団地が建ち、その周辺に新興住宅地が点在している。近年高齢化が急速に進んでいる。

活動開始のきっかけ

公民館主催の養成講座がきっかけとなって発足した。

立ち上げまでの流れ

平成25年度に、公民館・自治協議会・校区社会福祉協議会の共催で、養成講座を3回実施。講座受講生が中心となり立ち上がった。





西区西陵校区

下山門団地2区お助け隊

活動目標

独居高齢者などの住民が、少しでも在宅生活が続けられるようにする。

概況

結成時期 平成24年10月

活動地域 下山門団地2区 町内

ボランティア数 4名（男性3名、女性1名）

活動対象 活動地域内の全住民 活動日 特に制限はない（年末年始も対応）

利用料 無料（材料費・交通費等の実費は利用者負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 1件 / 活動件数 1件

規約・会則の有無 無

西区西陵校区

人口 5,394名
高齢化率 35.4%

活動地区の特色

5階建てエレベーター付きの市営団地が3棟の町内で、約110世帯が居住している。

平成25年4月から見守り活動を、7月から集会所でサロン活動を開始している。

活動開始のきっかけ

他校区での取組事例を目にする機会があり、自分の町内でもやってみようと思った。

立ち上げまでの流れ

区社会福祉協議会の地域担当職員から他校区の事例などの情報提供を受け、自治会長が内容を固め、自治会役員に協力を依頼し、立ち上がった。



活動内容

ゴミ出し ・ 外出支援 ・ 話し相手 ・ 電球交換 ・ 家の中の修繕
家具の移動 ・ 不用品の処分

活動までの流れ

受付対応場所 代表者の個人宅・専用携帯電話

マッチング方法 代表者が依頼を受け、棟のボランティアに連絡する。

活動時のルール 金銭の預かりが必要となる活動は行わない。（買い物代行など）

とても感謝しています。



利用者の声

住民が喜んでいる様子を見られること。



活動していて
よかったと思うこと

課題と今後の目標

- ・活動がなかなか浸透しておらず、高齢者は遠慮される人も多い。もっとPRして依頼者を増やしたい。
- ・自治会としての活動として位置づけ、役員が代わっても活動が継続されるようにしたい。



2区自治会でお助け隊発足！！

日常生活のちょっとした困りごとのお手伝いと、町内の交流を図るために実施します。困りごとがある方は連絡を！「お助け隊」が駆け付けます♪

- 階段や部屋の電球交換
- 家具の移動
- 不要品の搬出 など・・・

ボランティア活動なのでご希望に添えない場合もあります。まずはご連絡下さい。

連絡先：お助け隊長
(自宅)
(携帯)

新規隊員も募集しています♪
ご興味ある方はお気軽にお電話を！

問い合わせ先

福岡市西区社会福祉協議会（電話：092-895-3110）



西区周船寺校区

女原お助け隊

活動目標

活動を通して住民の交流と親睦を図り、住みよい地域づくりを行う。

概況

結成時期 平成25年4月

活動地域 女原 町内

ボランティア数 20名（男性10名、女性10名）

活動対象 活動地域内の高齢者 活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 無料

活動実績(月平均) 依頼件数 1件 / 活動件数 1件

規約・会則の有無 有

西区周船寺校区

人口 14,177名
高齢化率 17.3%

活動地区の特色

区画整理でファミリー向けマンションが建設され、人口が増えてきている。古くからの農村地域と新たなマンション群に2分されている。
平成23年から集会所でふれあいサロンが実施されている。

活動開始のきっかけ

現代表が、仕事を定年退職し時間に余裕が出てきたため、町内の高齢者などにちょっとしたお手伝いができるのではないかと考え、仲のいい友達と雑談している中で、構想を練っていった。

立ち上げまでの流れ

女原町のふれあいサロン開催時に、主体となる2名が実施に向け協議し、社会福祉協議会の地域担当職員が他地域の事例等を紹介するなどし、実施内容等を決めていった。

活動開始時は、男性ボランティアのみだったが、女性ボランティアが手伝いをした方がよい内容もあるのではないかとということになり、現在は女性もメンバー入りしている。

活動内容

ゴミ出し ・ 買い物 ・ 外出支援 ・ 話し相手 ・ 草取り ・ 庭木の剪定
電球交換 ・ 家の中の修繕 ・ 家の庭にある小規模な畑の耕作 ・ 不用品の処分

活動までの流れ

受付対応場所 地域担当民生委員が受付

マッチング方法 民生委員が代表者に連絡し、代表者が現場を確認した後、ボランティアに声掛けをして調整する。

活動時のルール 特になし

自分ではできない部分を手伝ってもらえて助かりました。



利用者の声

- ・ 自宅庭の小さな畑の耕作依頼があり実施した際、本人が収穫を非常に喜んでくれ、近所からも見学があり、近所とのつながりができたこと。
- ・ 利用者が喜んでくれること。






活動してよかったと思うこと

課題と今後の目標

依頼がなかなか来ない。依頼するのを気の毒に感じているようである。毎月発行しているサロンの案内などに、会のことを掲載し、さらなる周知を図っていきたい。



ちょっとした
困りごと はありませんか？
たとえば・・・
○電球が切れたけど、届かなくて替えることができない 
○蛇口から水漏れしているけど、どうしたらいいかわからない 
○邪魔な庭木の剪定をしてほしい(道路にはみ出した部分の剪定) 
など・・・
民生委員までお知らせ下さい
出来る範囲でお手伝いをします
民生委員 ○○○○ (092- - -)

問い合わせ先

福岡市西区社会福祉協議会 (電話：092-895-3110)



生活支援ボランティア活動を始めようと思ったら…

～グループ立ち上げ時の主な検討事項～



「地域で“ちょっとした困りごと”を抱えている人の、何かお手伝いがしたい…」 「自分ができるところを活かして、地域に貢献したい…」、そんな思いから、『生活支援ボランティア活動』を始めようと思ったとき、どのようなことを検討していけばよいのでしょうか。

グループを立ち上げる際の、主な検討事項を列挙しました。

※校区や地区、集まったメンバーの状況等によって、検討する事柄は異なってきます。また、どの方法を選択するのが正しい、正しくない、ということはありません。利用する人、活動する人、双方にとってよりよい仕組みをどう作っていくのか、知恵と工夫を寄せ合いましょう。



活動内容は？

- 例 電球の交換、ゴミ出し、掃除・洗濯、買い物代行、草刈り、庭木の剪定、布団干し、話し相手、衣替えや模様替えの作業（例：家具類の移動、布団・衣類の出し入れなど）、家屋の修理（例：網戸やふすまの張り替えなど軽作業）、近所への外出の支援（散歩や買い物付き添いなど徒歩移動する外出）、少し遠くまでの外出の支援（通院・買い物など、バスや車などで移動する外出）、犬の預かり・散歩、花の水やり、火災・水漏れなどの片付け など



利用申し込みの受付窓口(電話対応)は？

	☺ メリット・長所 ☺	☹ デメリット・短所 ☹
1 公民館 (公民館職員)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心できる(公的施設で信用がある)。 ・日中は常時対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館職員に負担や手間がかかる。 ・お金が発生する活動となった場合、公民館として関わりにくい。
2 代表者等の 個人宅	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ人が対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報幅広く公表される。 ・代表者等に負担がかかる。 ・自宅不在時に対応できない。
3 専用携帯電話 (担当者が所有)	<ul style="list-style-type: none"> ・常時対応できる。 ・担当者を交代制にすれば、一人に負担がかからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰が所有するかという問題がある。 ・利用者から信用を得られにくい。 ・携帯電話の利用料が発生する。
《その他》 <ul style="list-style-type: none"> ・対応マニュアルや受付票などの様式を作成する必要あり。 ・公民館対応の場合は、あくまで「電話受付対応」と「担当者への連絡」のみとするのが好ましい。 		



サービスの利用料金は？

※依頼件数や活動者数により長所・短所のバランスは変化します。

	😊 メリット・長所 😊	😞 デメリット・短所 😞
1 無料	・利用者に負担がない。	・活動者に負担がかかる。 ・経費や運営費を別途捻出する必要がある。
2 100円～200円程度 (最低限の額)	・利用者側の負担が少なく、気軽に利用できる。 ・無料ではないことで、利用者の心情的な負担がなくなる。	・経費や運営費等に充てられる額は少ない。 ・活動者への謝礼(報酬)は期待できない。
3 300円～700円程度	・運営費等に充てることができる。 ・活動者へ多少謝礼(報酬)を渡すこともできる。 ・無料ではないことで、利用者の心情的な負担がなくなる。	・料金がかかるために利用しない人(できない人)が出るおそれがある。
4 800円以上	・運営費等に充てることができる。 ・活動者へ謝礼(報酬)を渡すことができる。	・料金がかかるために利用しない人(できない人)が出る。 ・他の有料サービスでも解決できるため、利用が伸びないおそれがある。
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け取った利用料金を「運営費」と「活動者への謝礼(報酬)」へどう配分するかも検討する必要あり。 ・地域商店と協力し、「地域通貨(商品券)」という形で活動者へ報酬として渡している地域もあり。 		



利用料金の算定方法は？

	😊 メリット・長所 😊	😞 デメリット・短所 😞
1 時間に応じた 金額設定 【①単一価格設定】 例：1時間〇〇円	・利用者も活動者もわかりやすい。	・内容による不公平感が生まれる。 (例：電球交換ですぐ終わる場合、草刈りで1時間重労働の場合、ゴミ出しなど頻度の多い軽作業の場合などが、同じ金額でよいのか)
2 時間に応じた 金額設定 【②複数価格設定】 例：1時間毎〇〇円、 □□分以内で終わるような 軽作業の場合は△△円	・活動の大変さに応じた金額設定のため、利用者も活動者もわかりやすく、納得しやすい。	・活動時間の判断が微妙な作業を依頼された場合の対応が難しい。
3 活動内容に応じた 金額設定 例：草刈りは□□円/回、 電球交換は〇〇円/回、 ゴミ出しは頻度が多い ため△△円/回	・活動の大変さや頻度に応じた金額設定のため、納得しやすい。	・金額設定の判断や整理が難しい。 ・金額設定を細かく分けた場合、複雑になり、わかりにくい。
4 利用頻度に応じた 金額設定 例：単発の活動は〇〇円/回、 継続的な活動は△△円/月	・活動の頻度に応じた金額設定のため、納得しやすい。(継続的に頻繁に利用する人にも負担が少ない。)	・どの程度以上の利用を継続的な活動とするのか判断が難しい。
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記設定をうまく組み合わせることも可能。 		



利用料金の支払い(受け取り)方法は？

	😊 メリット・長所 😊	😞 デメリット・短所 😞
チケット制	<ul style="list-style-type: none"> ・チケットとお金のやり取りを事務局側でできれば、利用者と活動者の間の金銭収受のトラブルが起こりにくい。 ・頻繁に利用する人はまとめてチケットを購入すれば、利用の度にお金のやり取りをする必要がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単発の利用の場合は、手間が増えたり複雑になったりする。
サービス実施時に活動者へ現金支払い	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者側はわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動者の認識不足で、個別に依頼を受けて金銭収受してしまうおそれがある。
利用頻度が多い場合毎月まとめて現金支払い	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出しなど顔を合わせない作業や頻度の高い作業の場合、支払いの手間が軽減される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施した回数の認識が、利用者と活動者の間で異なるなどのトラブルが考えられる。
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通する課題として、お金やチケットを、事務局でいつどのように集約し管理するのかという問題がある。 ・他都市では、初回利用時に入会費をとる団体もあり。ただし、単発の利用に入会費がかかると負担が大きくなると思われる。 		



利用申し込み受付後の対応は？

	😊 メリット・長所 😊	😞 デメリット・短所 😞
活動者が訪問し状況を確認後、活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に電話で詳細を確認することで、効率的に対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話での依頼受付内容と実際の仕事内容に差があった場合（例：ボランティアで対応が難しい場合など）、トラブルを生むおそれがある。 ・活動者により、判断や対応の基準が異なってしまうおそれがある。
役員等担当者が事前に訪問し状況を確認後、活動者へつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にボランティアで対応できるかを判断するため、活動者が作業に入る際のトラブルが起こりにくい。 ・ある程度統一した基準で対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認に行く役員や担当者に負担がかかる。



活動時の人数は？

	😊 メリット・長所 😊	😞 デメリット・短所 😞
原則、1人で対応（依頼者の希望など、必要に応じ複数対応）	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な対応が可能となる（フットワークが軽い）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルや行き違いがあった場合に、対処に苦慮するおそれがあり、活動者も不安に感じる。
原則、複数で対応	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルや行き違いがあった場合に、確認等の対処が取りやすく、活動者が不安を感じにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調整に時間がかかる（利用者目線）。 ・調整に時間がかかる（運営側目線）。 ・活動者の手取りは少なくなる。
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブル等が発生した場合については、1人対応でも複数対応でも、代表者や役員等、第三者が介入する必要がある。 		



活動者の選定方法は？

	😊 メリット・長所 😊	😞 デメリット・短所 😞
近隣や同町の活動者から優先して連絡 (利用者が拒否する場合を除く)	・顔の見える関係づくりや日頃の見守りへもつながりやすい。	・一部の人に活動が集中したり、活動の機会がない人が出てくる。
リスト等作成し、順に連絡していく	・活動者からすると公平性が担保される。	・利用者との顔の見える関係が生まれにくい。 ・毎回違う活動者が来ると、利用者側が混乱するおそれがある。



必要な資材、運営費は？

《必要な資材例》

作業用の工具(対応する活動内容に応じる)、共通した作業着(エプロン、ジャケットなど) など

《必要最低限の運営費》

通信費(携帯や個人電話を使用する場合)、印刷費(PR チラシ、規約等資料、活動記録票など) など



その他の検討事項

- ◆ 活動の趣旨・目的
- ◆ 活動の範囲 (校区内か、校区外でも対応するのか など)
- ◆ 活動の対象 (高齢者、障がい者に限るか、広く困っている人とするか など)
- ◆ 組織の所属 (校区社協内の団体とするか、独立した団体とするか など)
- ◆ 活動者の構成 (校区社協の委員等に絞るのか、広く募集するのか など)
- ◆ 保険の加入 (無償と有償で加入する保険も異なる、保険料をどう負担するか など)
- ◆ 財政面の運営 (初期費用は社協から助成可能だが、その後継続的な運営が可能か など)
→検討事項例：活動者から会費をとるか、校区社協や自治協に予算要求するか など
- ◆ 規約・会則の作成 (基本的なグループの決まりごとをどのように内外に示すか ※次ページに例示あり)

悩んだときや迷ったとき、分からないことがあったときなどは、いつでも、各区社会福祉協議会の校区担当職員にご相談ください。その地域にあった方法を一緒に考えさせていただきます！！ (連絡先は、巻末に掲載しています)

《会則作成例》

「〇〇〇隊」 会則

第1条（名称）

この会は「〇〇〇隊」と称する。

第2条（目的）

この会は、校区住民が住み慣れたまちで安心して生活することができるよう、ボランティア活動を通して交流と助け合い、支え合いのある町づくりを推進することを目的とする。

第3条（事務局）

この会は、事務局を〇〇〇公民館（〇〇区〇〇町〇丁目〇-〇）に置く。

第4条（利用対象者）

〇〇〇校区の住民とする。

第5条（会員）

この会の会員は、会の趣旨に賛同する個人で構成し、〇〇〇隊登録カードを代表に提出した住民とする。

第6条（役員）

この会に、次の役員を置く。

- (1) 代表・・・1名
- (2) 副代表・・・1名
- (3) 会計・・・1名
- (4) 監事・・・1名
- (5) 相談役・・・若干名

第7条（役員を選出および任期）

役員は、総会において会員の中から選出する。

- (1) 役員は会員の互選とする。
- (2) 役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

第8条（利用料金）

- (1) 利用料金は1回300円とする。
- (2) その他、交通費や材料費等の実費は利用者負担とする。

第9条（会計）

- (1) この会の経費は、利用料金・助成金・寄附金その他の収入をもってあてる。
- (2) この会の会計年度は4月1日から翌年3月31日とする。

第10条（活動内容）

この会は、目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 電球交換
- (2) ゴミ出し
- (3) 外出支援

第11条（活動体制）

活動体制は、原則2名以上とし、活動終了後は活動報告書を事務局に提出する。

第12条（会議）

- (1) 総会を年1回開催し、事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、役員承認、会則の変更等、必要な事項を審議する。
- (2) 定例会を月1回開催し、活動報告、活動者の調整等、必要な事項を審議する。
- (3) その他必要に応じて会議を開催する。

第13条（守秘義務）

会員は、会の活動の中で知りえた個人の秘密を、他に漏らしてはならない。

附則

この会則は、平成〇〇年〇〇月〇日より施行する。

《 福岡市・区社会福祉協議会 連絡先 》

※開所時間:午前9時～午後5時(土日祝日・年末年始を除く)

名 称	住 所	電 話	FAX
東区社会福祉協議会 (東区ボランティアセンター)	〒812-0054 福岡市東区馬出5-40-11 箱崎前田6ビル3階	092-643-8922	092-643-8923
博多区社会福祉協議会 (博多区ボランティアセンター)	〒812-8514 福岡市博多区博多駅前2-19-24 博多区保健福祉センター3階	092-436-3651	092-436-3652
中央区社会福祉協議会 (中央区ボランティアセンター)	〒810-8622 福岡市中央区大名2-5-31 中央区役所1階	092-737-6280	092-737-6285
南区社会福祉協議会 (南区ボランティアセンター)	〒815-8501 福岡市南区塩原3-25-1 南区役所別館1階	092-554-1039	092-557-4068
城南区社会福祉協議会 (城南区ボランティアセンター)	〒814-0103 福岡市城南区鳥飼5-2-25 城南保健所1階	092-832-6427	092-832-6428
早良区社会福祉協議会 (早良区ボランティアセンター)	〒814-0006 福岡市早良区百道1-1-1 UMIBE B.L.D. 1階	092-832-7383	092-832-7382
西区社会福祉協議会 (西区ボランティアセンター)	〒819-0005 福岡市西区内浜1-7-1 北山興産ビル1階	092-895-3110	092-895-3109
福岡市社会福祉協議会	〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ内	〈代表〉 092-751-1121 〈地域福祉課〉 092-720-5356 〈ボランティアセンター〉 092-713-0777	〈代表〉 092-751-1509 〈地域福祉課〉 092-751-1524 〈ボランティアセンター〉 092-713-0778

※福岡市ボランティアセンターの開所日は火曜日～土曜日(祝日・年末年始を除く)、開所時間は午前9時～午後9時です。

お気軽にお問い合わせください!!





生活支援ボランティアグループ 活動事例集

発行 平成26年3月

編集 社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ内
TEL 092-720-5356 FAX 092-751-1524

※「福岡県高齢者等地域支え合い体制づくり事業補助金」の助成を受けて作成しました。

子ども世代や社会資源の地域活動への参画事例

(資料提供：福岡市社会福祉協議会)

ふれあいサロン・子育てサロン

・板付校区 × 校区内小学校・中学校（ジュニアリーダー）

ふれあいサロンや子育てサロンに、ジュニアリーダーの小学校・中学校の生徒が、年1回参加している。ジュニアリーダーは毎月1回定例会を行い、サロン等への参加のほか、プルタブ集めによる車いすの購入などにも取り組んでいる。平成26年度は、校区社協がジュニアリーダーを中心に呼びかけ、「認知症サポーター養成講座 Kids 版」を行う予定である。

高齢者配食事業

・西陵校区 × 西陵中学校（生徒会中心）

高齢者への配食（年2回）及び年末の餅の配付を、西陵中学校の生徒が行っている。生徒は、2～3人1組で高齢者宅を訪問する。配付に参加する生徒は、生徒会を中心に募集し、約100人前後が参加。生徒は活動前に、「高齢者疑似体験」（校区社協・区社協の協力）を体験している。

高齢者への生活支援

・宮竹校区 × 宮竹中学校

宮竹中学校の生徒（希望者）が、宮竹校区内の高齢者の困りごと（草取り、窓ふき等）を手伝う。夏休みの1日（半日）のみ活動し、活動終了後、公民館で地域活動者とともに、活動の振り返り等を行う。

ふれあいネットワーク

・七隈校区 × 福岡大学看護学科（学生グループ）

福岡大学看護学科の学生グループが、七隈校区の校区社協や民生委員・児童委員の協力を得て、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、看護の知識を活かして日常生活上の簡単なアドバイスや話し相手をしている。訪問は2週間に1回1時間程度で、6カ月に1回校区社協や民生委員・児童委員と意見交換を行っている。（平成21年9月より活動開始。）

移動販売による買い物支援

・入部校区 × 社会福祉法人至情会 碧園

重留3丁目は丘陵地であり、高齢者にアンケートを行ったところ、買物に困っているとの回答が多数見られた。同町内で実施されている「重留三ふれあいサロン」開催時に、碧園が栽培した野菜を中心に生活用品を移動販売する。なお、ふれあいサロン参加者以外の近隣住民も購入できるようにしている。平成26年9月より月1回実施予定。

買い物支援バス

・鶴田校区 × 株式会社飛鳥（飛鳥会館）

鶴田校区柏原東町内会は丘陵地であり、買物に困っている高齢者や障がい者が多いとの声が上がっていたため、飛鳥会館が所有するバスを使用し、買物先まで送迎する。

モデル運行を経て、平成26年7月より月1回定期運行開始。

